

地質情報展2007北海道 「熱くゆたかなぼくらの大地」開催報告

吉田 朋弘¹⁾

はじめに

毎年場所を変えて開催している地質情報展につきましては、本誌においてその報告記事を掲載させていただいております。2007年北海道地質情報展につきましては、諸事情により例年の掲載形態(特集)をとることが困難になり本号での報告となりました。

なお、2008年開催の秋田地質情報展の開催報告につきましては、各ブース出展代表者に記事投稿を依頼し、特集を組めるよう努めて参ります。

1. 総括

2007年9月7日(金)～9日(日)の3日間、北海道大学「クラーク会館」(札幌市:写真1)およびJR札幌駅サテライト(札幌駅西コンコース)において、地質情報展を開催しました。

例年、小学校等の団体来場者を期待して平日(金曜日)から開催していますが、なかなか思うようにはいきません。しかし、産総研北海道センターの担当者が関係機関に働きかけ、会場に一番近い北九条小学校

の児童47名(写真2)が来てくれました。1時間程度の滞在時間でしたので全てのブースを案内することはできませんでしたが、2日目以降のリピーターになってくれた児童も多数おりました。

初日(9/7)の来場者は177名に止まりましたが、2日目以降は新聞記事(北海道新聞社・朝日新聞社)や札幌駅サテライトでの案内もあり、2日目(9/8)406名・3日目(9/9)614名と増加し、3日間で1,197名の来場者がありました。

2. 展示内容

今回の地質情報展では、「北海道の地質のなりたちーペルム紀から現在」ほか【展示と解説のコーナー】が34テーマ、「フライトシミュレータ」ほか【体験コーナー】が14テーマ、「地質標本館がやってきた!」ほか【特設コーナー】が2テーマ、さらには【道立地質研究所・道内博物館のコーナー】として、北海道立地質研究所・札幌市博物館活動センター・沼田町化石館・北海道大学総合博物館・日高山脈館・むかわ町立穂別博物館・足寄動物化石博物館様から出展協力をいただき



写真1 地質情報展の会場「クラーク会館」入り口。



写真2 サッポロカイギョウの前で記念撮影。

1) 産総研 地質標本館

キーワード: 地質情報展, 北海道, 日本地質学会, 地質調査総合センター

ました。サッポロカイギュウの模型などは、あまりに大きすぎて運ぶのに苦労しましたが、来場者(特にお子さん)には大変人気でした。なお、展示内容(タイトル・三行要旨)につきましては、口絵1-4頁をご参照下さい。

3. 会場が・・・

本来、展示施設ではないクラーク会館をお借りしたため、その作りにあわせて展示レイアウトを考えました。館内に入るとそこは2Fフロアになりますが、学生や一般の方が通常使用するオープンスペースのため、展示にお借りすることは出来ませんでした。「受付」を奥の階段前に置き、来場者にはまず同フロアのレプリカ作製を案内します。導線では、その後3Fに上がり通路や各部屋の出展ブースに向かいます。奥に向かい階段を使用して1Fの展示ブースに向かう事



写真3 「北海道の地質のなりたち」
赤青メガネで北海道の地形を立体視。



写真4 「フライトシミュレータ」
ゲーム感覚でシームレス地質図を体験。

になります。

と、何ら問題が無いと思っていたのですが、展示者から苦情!? が、「1Fまでお客さんがなかなか来ない」そう、リピーターの子供達は慣れたもので、導線も関係なく自由に行きたいところに行きますが、どのような展示なのか分からない初めての方は、順番通りに見学され、展示(研究)者の解説に耳を傾けます。結果、3Fフロアの展示でかなりの時間が経過し、階段で1Fフロアの展示ブースに行つて欲しいところ、2Fフロアで力尽きそのままお帰りになった方もいらっしゃったようです。

4. 写真でお許し下さい

先に触れましたが、北海道地質情報展について特集を組むことが出来ませんでした。一部ではありますが、各ブースのスナップ写真を掲載します。雰囲気を感じていただければ幸いです(写真3-17)。

5. アンケートの結果について

アンケートは、来場者の半数を超える681枚のご協力をいただきました。ありがとうございます。ここで、簡単に紹介いたします。

問1. あなたは?

- ・小学生未満 30人
- ・小学生 181人
- ・中学生 22人
- ・高校生 8人



写真5 「海の地質調査-マンガン団塊を採ろう!-」
UFOキャッチャーのような模型で、マンガン団塊を採取。



写真6 「北海道の砂-砂を観察しよう-」
北海道のいろんな砂で試料を作って顕微鏡で観察.



写真8 「パソコンで地学クイズにチャレンジ!」
「×」あれっ、間違えた.



写真7.「燃える氷-メタンハイドレート-」
氷が燃えてビックリ.



写真9 「元素の地図-北海道の地球化学図-おもしろ化学実験」

- ・大学生 65人
- ・一般 284人
- ・地質学会員 81人

問2. このイベントを何で知りましたか？

- ・友人・知人から 130人
- ・学校のポスター 107人
- ・地質学会誌 88人
- ・新聞記事(北海道新聞・朝日新聞等) 81人
- ・先生から 76人
- ・地質調査総合センターHP 26人

問3. どちらからおいでですか？

- ・札幌市内 483人
- ・道内 71人(江別市 12・石狩市 7・その他)
- ・道外 94人

問4. どのテーマに興味を持ちましたか？

【展示と解説のコーナー】ベスト5

No.1 「燃える氷」メタンハイドレート	245人
No.2 北海道の砂	158人
No.3 メタンハイドレートラボ	143人
No.4 シームレス地質図	89人
No.5 全国主要活断層確率地図	81人

【体験コーナー】ベスト3

No.1 自然の不思議「鳴り砂」	233人
No.2 自分だけの化石レプリカを作ろう	232人
No.3 砂を観察してみよう!	203人

【道立地質研究所・道内博物館コーナー】ベスト3

No.1 サッポロカイギュウ	205人
No.2 ヌマタカイギュウ	128人
No.3 ネズミルカ	104人



写真10 「風船で火山地形をつくってみよう！」
同じ帽子をかぶった三兄弟もビックリ。



写真12 「自分だけの化石レプリカを作ろう！」
不動の人気コーナー。



写真11 「自然の不思議-鳴り砂-」
日本全国の鳴り砂。どこの鳴り砂かな。



写真13 「札幌の地質(道立地質研究所)」
地元の研究所・博物館が出展協力。

問5. ご自由にお書き下さい(原文まま)

【幼児(または親)】

- ・幼児の子供と大勢で来たのですが、大変良く説明や案内をしていただきました。ありがとうございます。大変楽しくすごせました。
- ・おもしろかったのは、ほね。いろいろもらってうれしかったよ。
- ・解説が子供相手でも、やさしく丁寧に接してくれた。

【小学生】

- ・今回は2回も来ました。学校の同じ学年の人と自分でいきました。特に楽しかったのは石わりです。きれいな石がわることができたのでたのしいです。レプリカはアンモナイトとデスモスチルスの菌をつくりました。本物にまちがわれたらうれしいです。らい年もこのイベントをやってください。
- ・北海道の地図を見るときにメガネをつけてみるやつ

- がおもしろかった。おみやげがあったのですごくいい。説明員の人は、いろんなことをしんせつに教えてくれたのでとても勉強になりました。
- ・家や学校ではできない事をできたので楽しかった。
- ・それほど混み合うこともなくゆったりと見学できてよかった。
- ・地質っていろいろあっておもしろいな～。
- ・私は地層の分野がすごく苦手で大きらいだったので、9/7に来たときに、すごくおもしろかったので、3日間ずっと来ちゃいました。大きらいなモノが、けっこう興味もてました！ありがとうございます！
- ・私は理科の実験が大好きでこの経験がすごくおもしろかったです。3日間ずっとこれて理科がますます好きになりました。ありがとうございます。
- ・説明員の方が大変親切で気持ちよかったです。



写真14 「顕微鏡で石をみたこと・・・ある？」
普段気にも留めない「石」。でも、顕微鏡で見ると・・・。



写真16 「いろいろな石を触ってみよう・石を割ってみよう！」
やわらかい(割れやすい)石・硬い石、石にもいろいろな性質が。



写真15 「地層のでき方」
スケルトンの水路実験装置で一目瞭然。



写真17 「ペットボトルで地盤の液状化を再現！」
「エキジョッカー」体験前にちょっとお勉強。

【中学生】

- ・詳しく説明してくれるのはいいけど、他のところへ行くとタイミングがないような気がする。でも面白かったです！
- ・説明員の人には、とても分かりやすく解説してもらいました。今まで分からなかった事も理解でき、いい機会になりました。
- ・ポスターをみるとかたくなしくてむずかしいので行かないと言う人が多かったのも、もっとあかるいポスターにしたらいいと思う。

【高校生】

- ・説明員の方々がとても快く質問に応じて下さったり、説明も丁寧に、わかりやすくとても勉強になりました。私は化石が大好きで、化石めあてに会場に来たのですが、海底の地質調査や地熱資源について

など今まで詳しく知らなかった内容を、楽しく学ぶことができたので、地学の中でも興味ある分野がたくさん増えました。いい経験になりました。説明員の方々、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

- ・詳しく展示されていてわかりやすかったです。

【大学生】

- ・専門的な事柄もとてもわかりやすくパネルや実験で説明されていてとてもわかりやすかったです。
- ・たまたま立ちよったのですが、とても楽しかったです。北海道をもう一度見直してみようと思いました。
- ・展示している側の熱意が強く感じられました。
- ・我々のしている研究の第一人者に会うことができ、大変参考になりました。
- ・展示内容の質がとても高く、大人でも子どもでも楽

しめるものでした。また、終了間際にも関わらず、熱心に説明していただいて勉強になりました。子どもが小さいころからこのような展示にふれることはとても良いことです。

【一般】

- ・説明を担当されている方々が大変丁寧に対応して下さい、よく理解できた。実験が多種用意されていた。より理解が深まった。地質地学の研究者の努力は、我々エレクトロニクスの研究者に比較して多大なものがある。
- ・予想以上の展示の量にビックリしました。とても短時間では見きれない内容・量でした。説明もていねいで且つぎっくばらんで好感がもてました。
- ・小学生の子供と一緒にきました。興味をひくものが多く4時間程遊びました。フライトシミュレータはなかなか大人も楽しめました。夏休みにやってもらえたら自由研究に出来たかなと思いました。
- ・札幌の地層(JRから北側)の弱さを再確認させていただきました。うーむ、明治時代の地質学(者)の水準もかなり高かったのですね。
- ・学校現場への出前講座があれば子どもたちがより興味をもつと思います。学生時代に来たかった!
- ・説明員は楽しいそうにしかも懸命に話してくれました。いいイベントと思うとともにこのような総合的常設施設があれば良いなと思います。
- ・展示内容の種類が多くてよかったです。知らなかったこと、楽しい実験、そしておみやげもあって予想外でした。とても勉強になりました。(小学校で指導しているので参考になるものがたくさんありました)。説明もわかりやすくとてもていねいにしていた

だきました。準備が大変だったと思いますが、来年もあるといいなあと思います。

【地質学会員】

- ・子供連れの見学者が、結構いたのが最近の地学ばなれが言われている中で、ちょっとホッとするものであった。説明する方も、子供の目線で話をしていたのに好感が持てた。
- ・生徒の引率で来ましたが、皆ていねいに熱心に解説して下さい、とても良い機会となりました。普段は田舎にこもっている子ども達を連れて来ることができ良かったです。
- ・毎年の地質学会でとても楽しみにしています。とてもためになりよい教材を仕入れることができ感謝しています。

最後に

「地質情報展2007北海道」で展示されたポスターは、地質調査総合センターHP イベントカレンダー(<http://www.gsj.jp/Gtop/event/calender.html>)でご覧いただけます。また、「地質情報展2008秋田」の記事も本誌にてご紹介するよう努めますので、楽しみにお待ち下さい。

なお、2009年度の地質情報展は「岡山」で開催予定です。詳細が決まりましたら本誌にてご紹介いたします。

YOSHIDA Tomohiro (2009) : Geoscience Exhibition in Hokkaido.

<受付：2008年11月17日>